

堀の上

（初演）

人1 なんだ？ ここはどこだ？

道をあらいていた
遠くに見える

何かを追つて

よく迷い、いろいろ間違えながら
道をあらいてきた それなのに

なんだ？ ここはどこだ！？

いつの間にやら ここは 堀の上

尺よりは狭う 堀の上

下は泥梨か白波の音も聞こえぬ
風つよく吹き 足もたまらず

千尋の底は地獄やあらむ

もとよりすくむ足なれば
そろり よろよろ

落つるまじ 落つるまじ

ともあれここは 堀の上

先に見ゆるも 堀の上

落つるまじ 落つるまじ

堀の上

悪魔？1 墮ちちゃえよ

墮ちちゃえ 墮ちちゃえ 楽になろうぜ

なんにも怖がることはない

憂さも悩みも 南無三宝 堀の上の生き地獄

なんじやかんじや おさらばさ

墮ちちゃえ 墮ちちゃえ

楽になろうぜ

天使？1 だめ！そんなのダメ！

待て 待て

待て待て待て そんなことは言つてねえ

悪魔？1

悪魔？1

まあこつちを見てみれば

なんでもかんでも好き放題

楽しそうではあるまいか

なんでもせ なんでもせ

楽・得・欲が、合言葉

堕ちちやえ 堕ちちやえ

樂になろうぜ

天使？1

それもだめよ

だめよ いけない

あなたの道は 自分で選んだものだもの

屏の上でもやっぱり道は道だから

あなたの通ったあとには

きっと花が咲いてる

悪魔？1

バカバカしい！

そんなキレイごとばつか言ってつから身動きもとれねえじゃねえか
見ろ 花なんかどこにも咲いちゃねえだらうが

なによ！あんたみたいに心の直ぐにない人には見えないのよ！

なんだと、この～！

天使？1

なによ

人1

悪魔か天使か、その諍いにまた迷う

悪魔？2

そんなの、ほつときなよ

そんなことより、こつちに降りよ なにか良いことあるかもよ
降りよ ねえ

降りれば何か良いことが、あるかもよ

人1 その声に、なにかつい 引き寄せられ

悪魔？2 降りよ ねえ ねえ 降りよ ねえ

天使？2 そつちはダメだろう！

ダメだそつちはそつちはまずい

いくらなんでもそれはない

人それぞれに守るべきものがある

意味わからない、ナニそれ

すなわちそれが矜持なり

人1 人それぞれの矜持と言えど、人は誰でも平等でしょ

悪魔？2 平等なれば、能くえらぶ

天使？2 されど選ぶものの、持たざる者あり、何を選べとおっしゃるのかしら

天使?2

人1

ん、それは然り
されど選ぶが憂世なり

その挙げ句が堀の上

悪魔?2

人1

ハア、結局あなたは堀の上、高みの見物を決めこんでればいいじゃない
高みの見物とは、そうかもしけぬ、が、この高みは逃げた先、
たとわばヒョウに追われ、樹上に逃れた小鹿のすがた
震えおののく高みの見物
それが己のふがいなさ

天使?1

でも

天使?1・2

ここは樹上にあらずして、我らが歩くは堀の上
たしかに何かに向かつていた

人1

なにかを追つてたどりきた、我らが歩くは、堀の上
行くか墮ちるか、堀の上
行くも墮ちるも、堀の上
行くか降りるか、堀の上
行くも降りるも、堀の上……